

第6章. 市民の水環境に対する意識アンケートの結果

6.1 アンケートの概要

「身近な“水”に関することについての今の満足度」、「身近な“水”に関することについて今後優先的に取り組むべきこと」、及び「身近な“水”に関することを良くしていくために市民として協力できること」等について、市民がどのように感じているのかを把握するために平成18年7月にアンケートを実施しました。

アンケートは、岡崎市にお住まいの方2,000名を無作為抽出し、アンケート用紙を郵送する方式で実施しました。この結果、20代から70代までの各世代からほぼ均等に回答が得られ、そのうち有効回答数は567通、回収率は31.9%でした。

6.2 アンケート結果の集計

アンケートでは、まず最も興味がある河川はどれかについて回答をお願いしました。回答の得られた河川を図 6-1 に示すブロック及び矢作川に分類して結果を整理しました。なお、このブロックは市内の水環境の特徴を踏まえて分割したもので、本プランはこのブロック毎にまとめられています。



図 6-1 アンケート結果を分類したブロック分け

6.3 「身近な“水”に関することについての今の満足度」への回答

この項目に関しては、以下のような回答が得られました。

アンケートの結果

- ・ 全体的には、「災害(洪水・濁水)」対策に対する満足度が高い。
- ・ 全体的には、「水との関わり」の満足度が目立って低く、次いで「水の量」の満足度が低い。
- ・ 平均点では、乙川上流ブロックのみ 50 ポイントを上回っている。
- ・ 乙川下流、青木川・郡界川、矢作川では全体と同傾向。
- ・ 乙川上流では全体と同傾向であるが、「水の質」、「水辺環境(自然・親しみ)」が 50 ポイントを上回る。
- ・ 広田川・安藤川、鹿乗川では「災害(濁水)」を除いてかなり満足度が低く、特に鹿乗川については「災害(洪水)」についての満足度が低い。

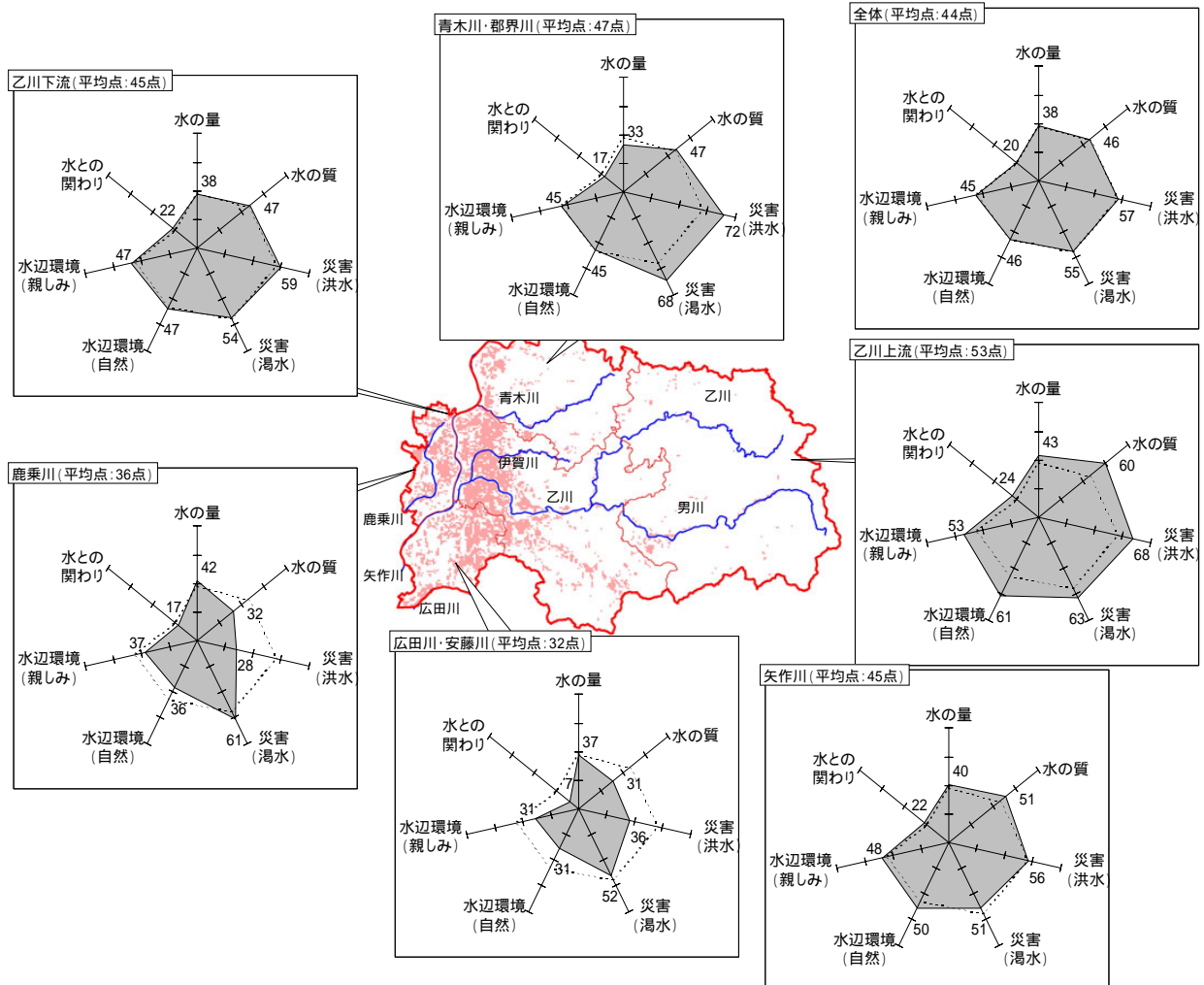


図 6-2 「身近な“水”に関することについての今の満足度」への回答結果⁸

⁸ グラフの軸は最大値 80 ポイント。また、各グラフの破線は全体の回答を表している。
5 段階評価で質問した満足度につき、全員が評価「5」の場合を 100 ポイント、全員が評価「1」の場合を 0 ポイントとしたときの点数

6.4 「今後優先的に取り組むべきこと」への回答

この項目に関しては、以下のような回答が得られました。

アンケートの結果

- ・ 全体的には、「水の質」への取り組みが最優先とされ、次いで「災害(洪水・濁水)」、「水の量」について取り組むことが望まれている。
- ・ 乙川下流、矢作川では全体と同傾向。
- ・ 乙川上流では、「水の質」の次に「水の量」、「水辺環境(自然)」への取り組みが望まれている。
- ・ 青木川・郡界川では、「水の質」の次に、「水辺環境(自然)」への取り組みが望まれている。
- ・ 広田川・安藤川、鹿乗川では、「災害(洪水)」への取り組みが最優先とされ、次いで「水の質」について取り組むことが望まれている。

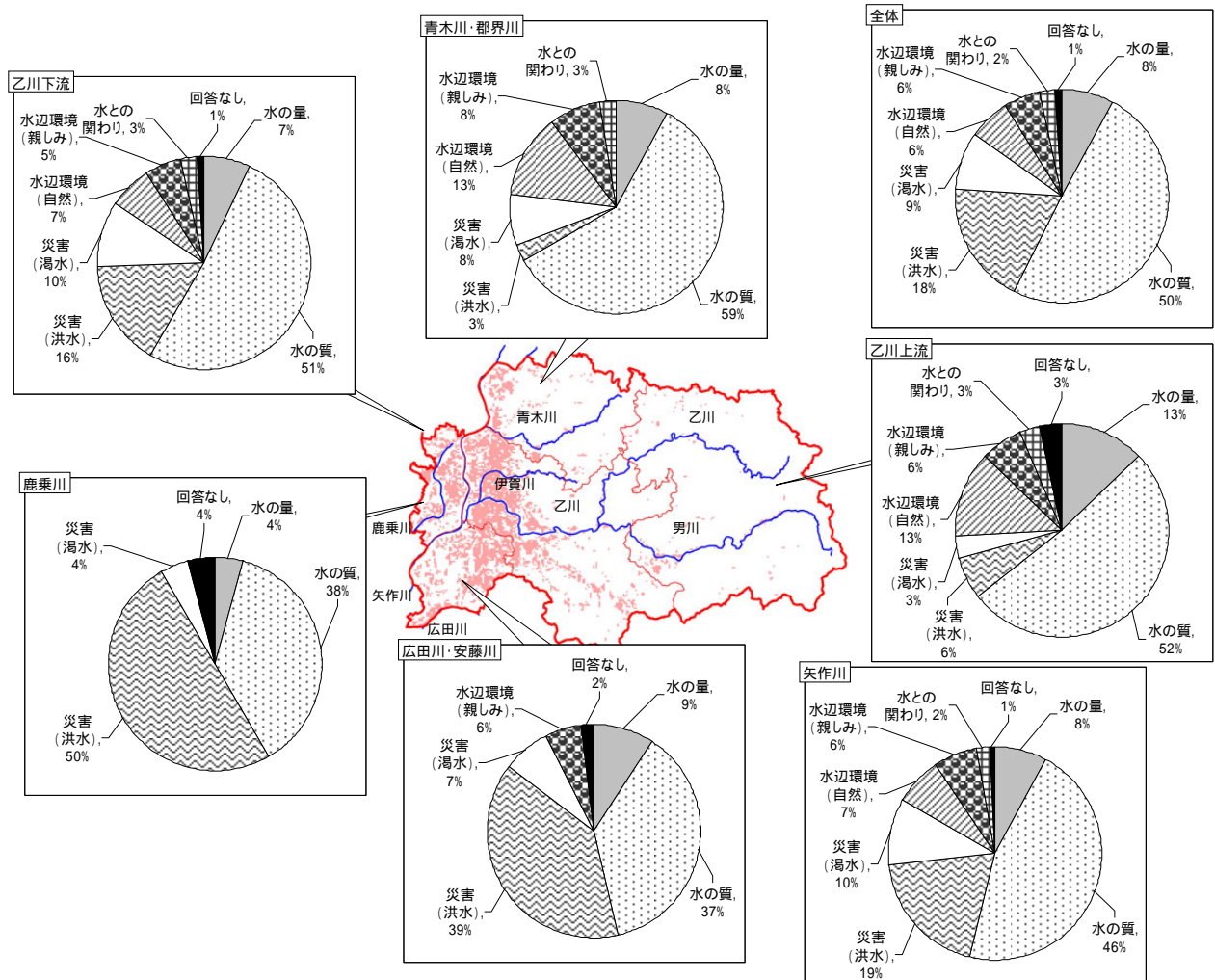


図 6-3 「今後優先的に取り組むべきこと」への回答結果⁹

⁹ 今後優先的に取り組むべきこととして回答された割合。

6.5 「市民として協力できること」への回答

この項目に関しては、以下のような回答が得られました。

アンケートの結果

- ・「家庭からの排水をきれいにする」、「節水」については市民の協力を得られる可能性が高い。
- ・上記の他、乙川上流ブロック以外では「清掃」へ協力しても良いと回答された割合が高い。
- ・上記の他、乙川上流ブロックでは、水環境の全のために「年会費」を支払ってもよいと回答された割合が高い。

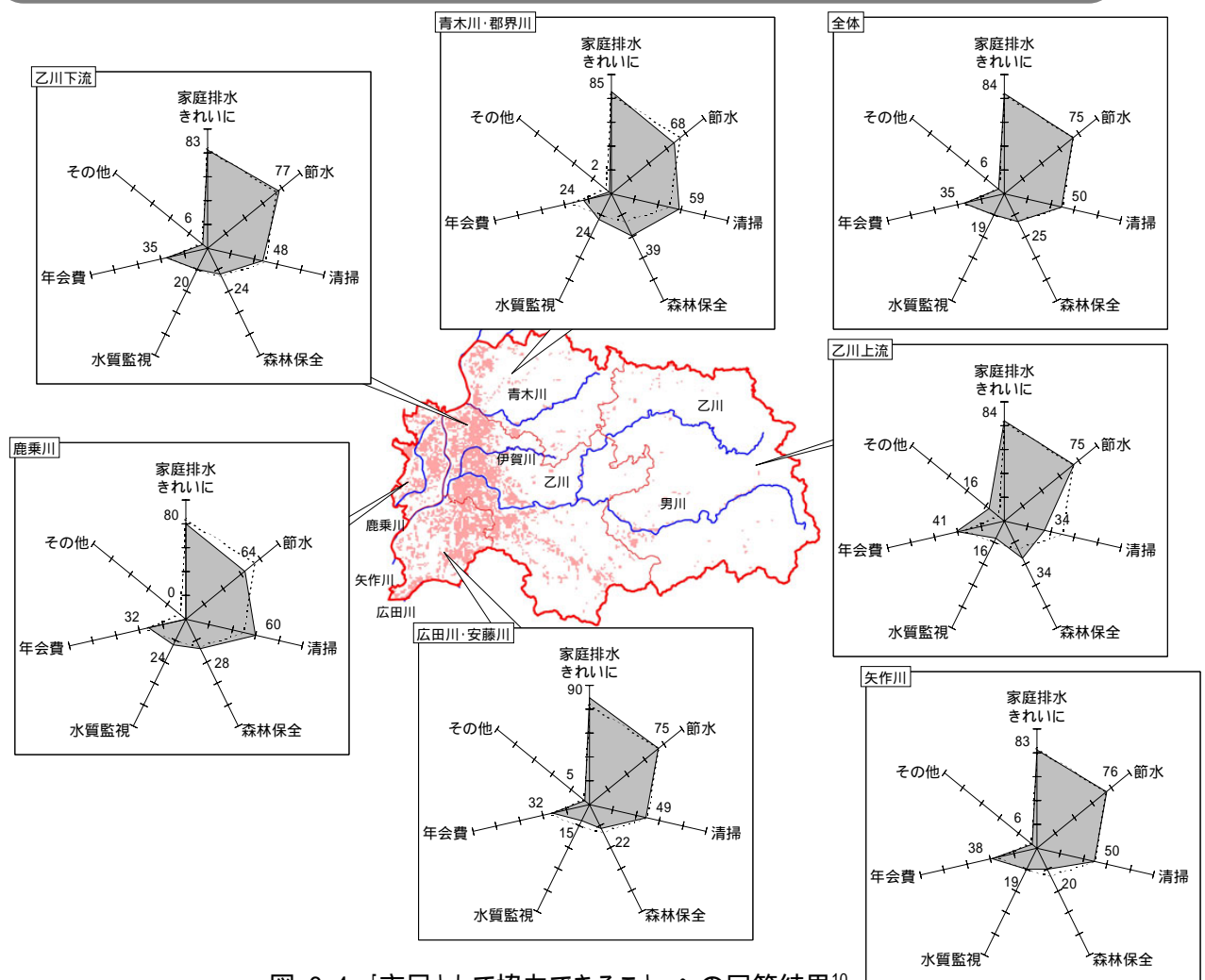


図 6-4 「市民として協力できること」への回答結果¹⁰

¹⁰ グラフの軸は最大値 100 ポイント。また、各グラフの破線は全体の回答を表している。回答者のうち、それぞれの項目について協力してもよいと答えた方の割合。ひとりにつき3項目まで回答。